

# 丁字路 吹田高架橋&地下道

- 国道479号と大阪高槻京都線は、阪急吹田駅のすぐ北の位置で接続。千里線の線路を跨ぎながら上空で分岐する高架橋と、線路の下を潜(くぐ)る地下道、さらに自転車・歩行者用の地下道を組み合わせた、複雑な構造となっています。
- 厳しい地形条件が、意匠を洗練させる。機能面から導かれた、必然としての三層構造です。



# 京都側から

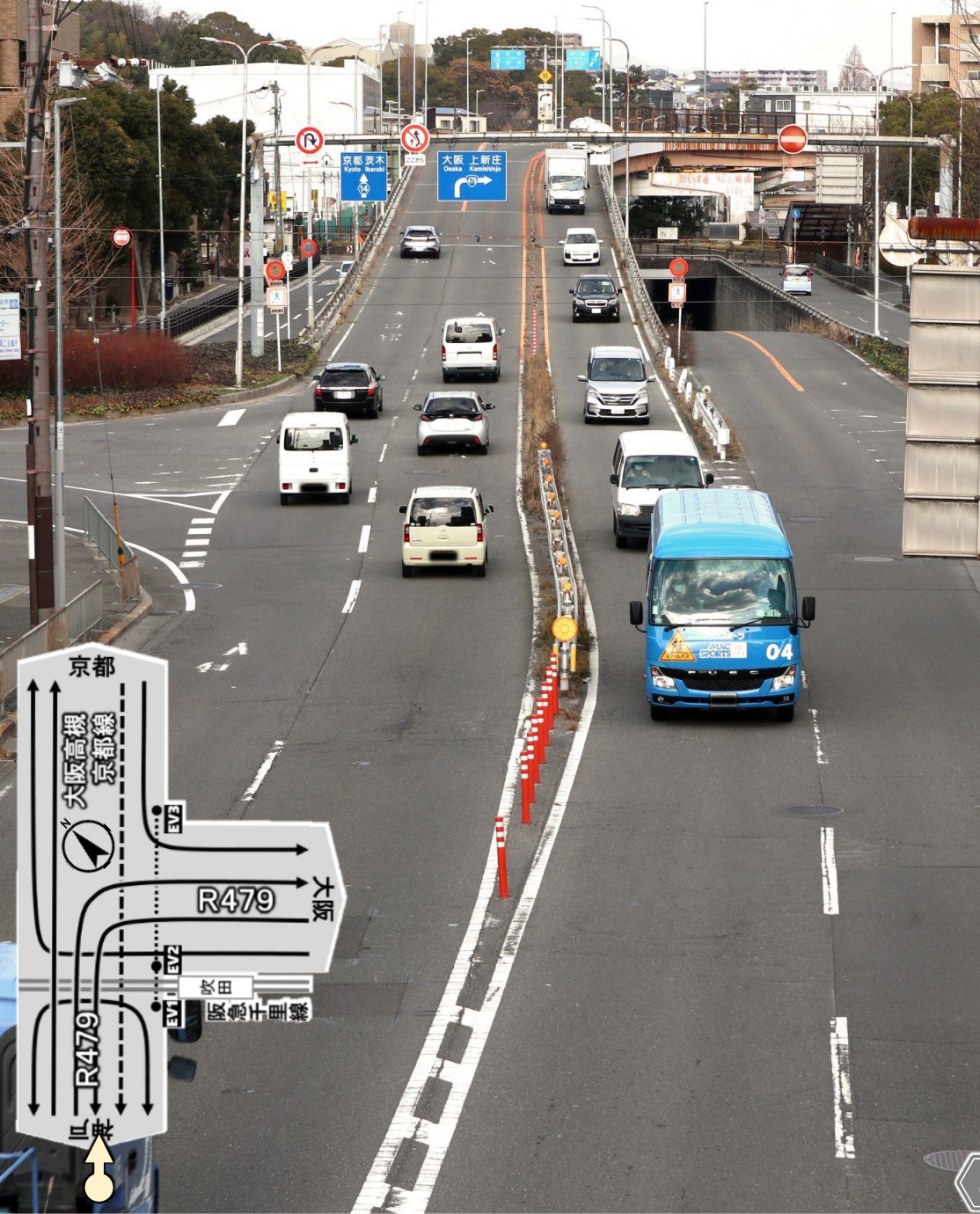


梅田スカイビルを遠望。



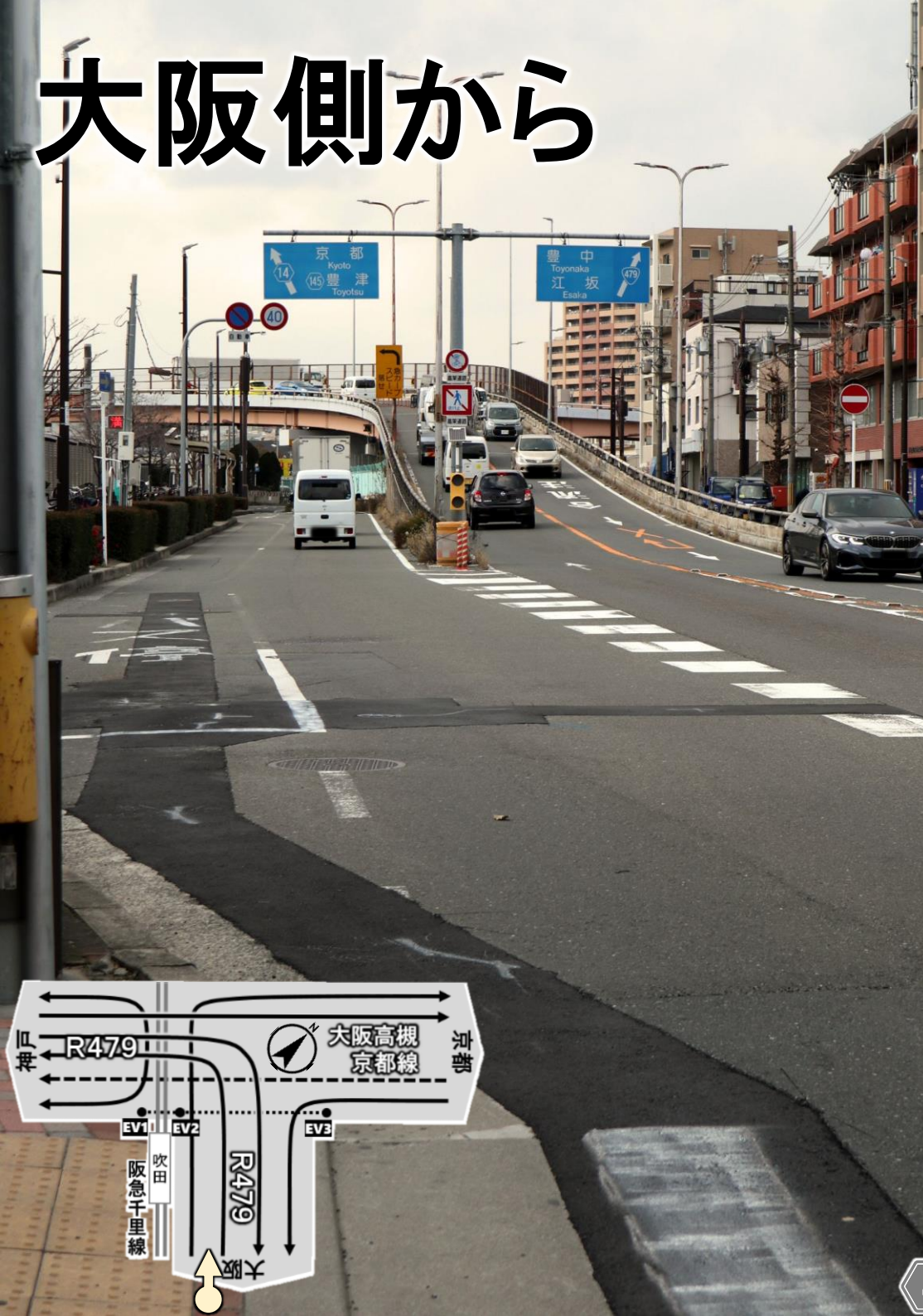
左から、平面で大阪方面へ、地下道で神戸・豊中方面へ、そして高架で豊中方面からの車線。

# 神戸側から



大阪方面から来た車は高架橋から、京都方面から来た車は地下から合流する。

# 大阪側から



京都方面へ行くには一旦左側の平面部の車線に入る。



ひとつ手前(南側)の標識。



# 市役所への道

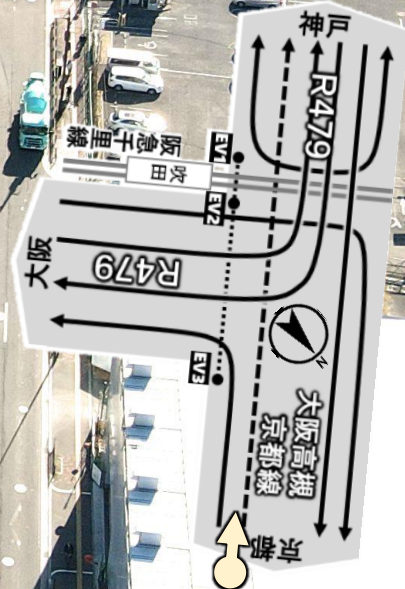
JR東海道線

吹田市役所

出入口

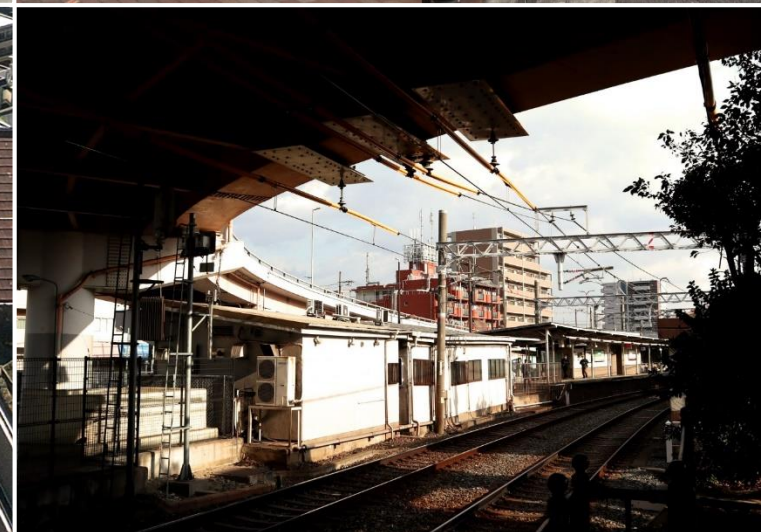
吹田駅

阪急千里線



5

# 曲線



# 曲率半径



京都側から大阪市内方面へのカーブ。「速度落せ」。



神戸側から大阪市内方面へのカーブ。空に向かって登りながら、右に旋回。



大阪側から神戸方面へのカーブ。線路に平行に登っていきながら、左に旋回。

# 歩行者動線



エレベーター1号機。



エレベーター2号機。



エレベーター3号機。



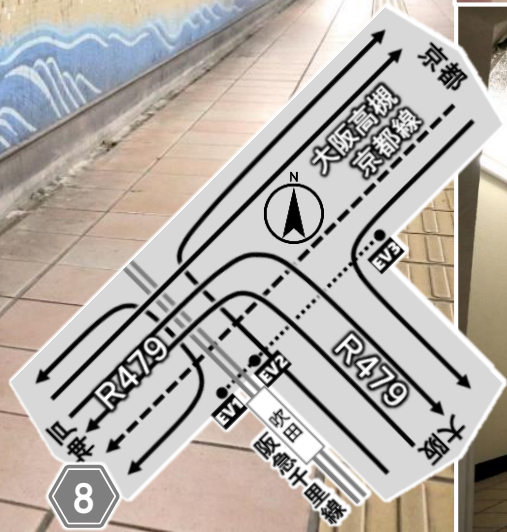
地下道の壁面はタイル絵「吹田の渡し」。



EV3の地上部は、車道の半径を小さくすることで生み出した空間に建つ。



エレベーター3号機の地下部。





落橋防止装置と、橋座拡幅のための鋼製ブラケット。



架空線からの離隔が確保できないため橋桁に絶縁板を設置。



# 対策

耐震補強された橋脚。



地下道の冠水を知らせる表示板。

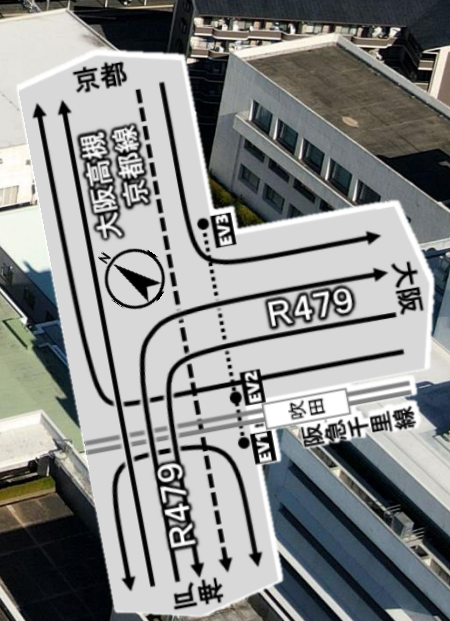


排水ポンプの機械室。

# 丁字路



京都方面を望む。



10